



深小っ子だよ

こころざし高く
思いやりのある
深小っ子の育成

第3号
R6.5.24 発行

ゆずってくれて ありがとうのお礼

雨に濡れたあじさいの青がひとときわ美しい季節が近づきます。

さて、先月、片桐教育長さんから、深谷小学校の児童の『ゆずってくれて ありがとうのお礼』に対する感謝の電話をいただきました。内容は、片桐教育長さんのお知り合いの方が、深谷小学校区を車で運転しているところ、道路を横断する2人の児童がいたので、車を停止したところ、横断後に、車の方に体の向きを変え、「ありがとうのお礼」をしてくれたというものです。2人の児童の行動に大変感動され、片桐教育長さんにそのことを伝えたそうです。



表題にも掲げましたが、『ゆずってくれて ありがとうのお礼』は、本校の150年の伝統の1つです。他にも『立ち止まりあいさつ』『りりしい返事』『黙々清掃』があります。また、本校でも取り組んでいる深谷市の『6つの誓い』の中にも、『私は、進んであいさつをすることができます』とあります。「あいさつ」は、今後どんなに情報化社会やAIが進もうと、これからの未来を担う子供たちにぜひ身に付けて欲しい力の1つだと考えます。



児童の中には、「あいさつ」ぐらいと、簡単にできると思いがちです。しかし、実際に自分ではできていると思っても、声は出ているけれども表情が乏しかったり、顔を向けていないので声が十分届かなかったりと、客観的には十分できていない面も多く見受けられます。

残念ながら、「あいさつ」は、一人で上手くなるものではありません。いろいろな場面で、声の大きさや表情等を的確に判断し、実際に声を出す経験を通して、上手くなっていくものです。幸いにも、深谷小学校区には、交通指導員さんやPTAの旗当番さん、防犯パトロールの皆さんなど多くの地域ボランティアの皆さんが登下校の立哨に立っていただいております。日頃の感謝を『深小っ子伝統のあいさつ』で言えるように、引き続き学校でも指導をまいりますので、家庭・地域の皆様にもご理解とご協力をよろしく願いいたします。

資源回収 ありがとうございます

5月19日(日)午前8時00分から、本年度第1回の資源回収を実施しました。地域の皆様、PTAの皆様のご理解とご協力で、多くの資源を回収することができ、無事に終了することができました。誠にありがとうございました。



